

「サービスロボットFORRO導入効果検証のための 屋内位置情報サービス(mapxus Driven by Kawasaki)を 活用した医療従事者業務分析」への協力をお願い

病院内へのサービスロボットの本格導入のためには、その導入効果を定量的に測定することが必要です。今回は検体配送や臨時薬剤配送に従事するサービスロボットを導入する前後において、看護師・看護補助等の移動時間がどの程度削減されたか、またどの程度専門業務・対人業務が増えたかを検証する必要があります。

定量的に導入効果を測定することにより、ロボット導入の意思決定は容易となり、その結果ロボットに任せられる業務はロボットに任せ、看護師・看護補助等の専門業務・対人業務を増やすことにより、労働人口減少社会においてサステナブルな医療環境整備に貢献したいと考えています。

<対象> 配送業務を行う看護師・看護補助者等

<実施期間> 最大6週間（ロボット導入前3週間、導入後3週間）

<調査方法>

- mapxus Driven by Kawasaki(屋内位置情報サービス)を活用する。
- 対象者には専用デバイス(ロケータ)を保有してもらい、位置情報から移動・専門業務・対人業務の時間を定量的に把握する。
- ロボットの導入前後での各業務時間の変化を確認する。



位置測定用ロケータ

川崎重工が提供するmapxus Driven by Kawasaki (屋内位置情報サービス)の詳細はこちらをご参照ください。

<https://www.khi.co.jp/groupvision2030/mapxus.html>

本研究への参加、不参加、あるいは途中で参加を取りやめることに関わらず、勤務評定などにおいて不利益な扱いを受けることはございません。

ご質問など詳細については、以下にお問い合わせください。

<問い合わせ先>

藤田医科大学 産官学連携推進センター

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98
0562-93-9559

担当者：田坂 正綱（内線9559）



川崎重工業株式会社 社長直轄プロジェクト本部近未来モビリティ総括部

〒105-8315 東京都港区海岸1丁目14-5
03-3435-2111

担当者：花光明